# 女性つながりサポート等事業【大府市】

### 地域の実情と課題

本市では従来から女性の悩みごと相談においてDV被害者への 支援などを実施している。

一方、全国と比較すると、女性の就業率が低い傾向にある。その ため、シングル家庭や片働き世帯はコロナ禍による経済的影響な どを受けやすいと考えられる。

## 事業の特徴

指定管理事業の1つとして実施している「女性の悩みごと相談」を ベースとしながら、相談しやすい環境を整備し、適切な支援につな がりやすくする。

内容:オンライン相談、大学サテライト相談、居場所サロンの開設、 相談員養成・相談員支援、心理・就労専門相談の実施

## 事業の効果

居場所サロンから相談に繋がった件数・・・2件相談から居場所サロンに繋がった件数・・・2件キャリアカウンセラー相談・・・9件

コロナ禍の影響により、居場所サロン事業の参加者が少なく、結果的に件数が少なく終わった側面があるが、相談事業の拡充については十分に実施できた。また、生理用品等を相談事業のPR用に配布し相談窓口のキャンペーンができた。

## 目的 目標

コロナ禍による不安や貧困を抱えた女性に対し、相談体制を充 実させ対象となる女性の横のつながりを回復させるために、居場 所事業を実施し女性への支援を行っていく。

- ▶ キャリアカウンセラー相談件数・・・9件(従来の女性悩みごと相談では対応していなかった就労準備への支援としてキャリアコンサルタントによる相談対応が可能とした。)
- ▶ 相談から居場所利用への連携体制ができており、利用に繋がった件数・・・5件(困難を抱えた対象者がつながりの回復だけでなく、適切な相談ができるように働きかけをする。)

#### 連携団体

- ▶ 大府市更生保護女性会(居場所サロン食事作り等ボランティア)
- ▶ 市内2大学(大学サテライト相談会場提供)
- → 市内医療機関(精神科医等紹介)

## 今後の課題

相談事業だけでなく、自分で繋がりを回復できるような居場所は必要である。

せいる。 相談員の育成には時間を要するため、継続的にスキルアップ等を 行っていく必要がある。

困難を抱えた女性はそれを周囲から隠そうとする傾向があるため、 困難な状況になる前から相談窓口について周知し、相談につなげ る必要がある。

#### 事業の概要

#### 居場所サロン

不安や困難を抱える女性が集まれる場。様々な講座やイベントの実施。

- 講演「ひとり親家庭の明るい笑顔と未来のために」
- ・晩御飯をつくろう(ボランティアと晩御飯を作り、持ち帰ります。)
- お菓子づくり(同上)
- ・手芸(フェルト手芸、ヘアピン作り)
- ・写仏体験、ペン習字(心を落ち着かせる)
- ・ピアノ演奏とマインドフルネス
- ・セルフケアレッスン
- ・しあわせメンタルヘルス
- タイ式ヨガ

〈月1回~3回程度実施〉

相談から居場所へ居場所から相談へ

#### 相談

手段増:オンライン面談、メール相談

多様な視点、専門家からの助言: 臨床心理士相談、キャリアコンサルタント相談

若年女性へのアプローチ、予防:大学サテライト相談

相談員増員:相談員養成講座

相談員支援:精神科医スーパービジョン







